

事業所名

放課後等デイサービス ポコアポコ・アニメ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

27日

法人（事業所）理念	自分で出来る事の「再確認」と「喜び」そして出来る事を増やして、「自信」に繋げ児童たち一人一人の能力を引き出し伸ばしていきたい。そして、児童と家族がより良い生活を送れる様に支援していきます。それが私たち「ポコアポコ・アニメ」の目標です。							
支援方針	利用者一人一人に寄り添い、保護者・利用者一人一人の特性やニーズに合わせ、いかなる事に関しても支援員は「できない」方向で考えるのではなく「出来るためには」の方向で療育・支援に取り組む姿勢を持つ。							
営業時間	平日 休日・祝日	10時 9時	00分 00分	19時 18時	00分 00分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒、検温、うがいなどの基本的な事の習慣づけ。 ・昼食の際には、食事サポートをおこないます。手洗いや台拭き消毒をし、食中毒を防ぐためのお弁当の保存や再加熱、適切な食事のマナー支援をおこなう。 ・洗顔・歯磨き・入浴の必要性、服装・髪型などの身だしなみの意識が出来るように、事業内に姿見を設置したり、TPOを学び活動などのお出かけでも適した服装選びが出来るように支援します。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に学校生活を送り、将来仕事の継続。学習時や人の話を聞く(立つ・座る)際に姿勢保持が楽になるように、専門的な部分にて「ラジオ体操」「歩行支援」「体感トレーニング」を週に1回～2回集団・個別にておこなう。 ・音楽療育として、ピアノの生演奏に合わせてラジオ体操をおこなう。速くなったり、遅くなったりタイミングよく身体を合わせられるか声掛けしながら取り組む。 ・自分のボディイメージを高めコントロールするために、映像を見ながらのダンスなどをおこなう。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・日記や活動などでの振り返りシートを使って自分の感情を適切に表現・理解する力を育てる。 ・「もし〇〇だったら？」失敗したときや、不快に思ったときに別のとらえ方を考えるワークをおこない、物事に対して柔軟に考えられる力をつける。(歪みを修正しポジティブに) ・ロールプレイングの中で、怒られた時・喧嘩した時、感情的にならずに適切な行動を選ぶ練習をする。 ・一人一人に合ったストレス解消方法を決めておき、ストレスを感じた時に適切に対処する方法を学ぶ。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶は勿論「ありがとう」「すみません」を相手に伝えられる用に促す。 ・困った時、お店で注文する時等、こんな時どうする？をロールプレイでおこない、状況に応じた適切な表現を学ぶ。 ・表情カードを使い相手の気持ちを推測し、感謝や謝罪の伝え方を練習し、相手の気持ちを考えながら話す力を育てる。 ・調理レクなどで、メニューから手順までグループごとにディスカッション。意見の交換を行いながら協調性と発言力の会話の練習をする。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なコミュニケーションスキルや相手の気持ちの理解、協調性、トラブル対応力を学び実践的な社会性の向上として、買い物先での店員さんとのやり取りや電話対応をおこなう。個別にて事前に手順を作成し月に1回程度支援員1名が付き添いおこなう。 ・宿泊体験の共同生活の中でコミュニケーション・協調性・自己管理・計画性・トラブル回避対処を学ぶ。 ・SNSなどのメリット・デメリットを動画や書籍を用いて正しく学び、その中で友達とのかかわり方を円滑にする。 						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムや個別に子育てサポートでの支援の様子などの共有を図り、ご家庭でのサポートをスムーズにする。 ・送迎時、本日の様子などお伝えし、ご家族に安心してご利用してもらう。 ・本人参加の家族会議を通して双方の気持ちや希望を一緒に話し、親子の関わり方を見直せる場の提供。 ・ご家族の負担を軽減し、安心して生活が出来る様学校や関係機関との連携を図る。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 将来必要なスキルを一人一人見極め支援・活動・体験を取り入れる地域の活動に参加し、将来の選択肢が増えるようにする。 中学から高校、高校からの進学・就職・社会適応・自立を目的とした移行支援をする。 					
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントや活動に参加。 ・公共施設や公共機関の利用。 ・他事業所との活動機会を作り、児童同士の交流を図ると共に職員同士の学びも高める。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の管理者会議等で事業所同士の情報共有・虐待防止委員会・社内研修・社外研修に参加し職員間で共有し、同じ方向性・同じ対応・同じ声掛け等一貫性のある支援をする。 					
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験・見学(2か月に1回)、他事業所との交流活動(2か月に1回)、調理レクレーション(月1回)、野外活動(月1～2回)、フードバンクの品出しや運搬(月1回) ・季節のいいイベント(新入生歓迎会・花見・夏祭り・ハロウィン・クリスマス・年末大掃除・初詣・豆まき・バレンタイン・卒業式) ・その他、地域の図書館や体育館などの利用しての行事もおこなう。 							